

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 結核重点地域対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策係 電話番号：058-272-1111(内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 694 千円 (前年度予算額： 733 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	733	118	0	0	0	0	0	0	615
要求額	694	125	0	0	0	0	0	0	569
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内では196人の結核新規患者が発生しており、罹患率も10.2と全国平均(8.0)に比べて高い状況にある(R6)。

結核のまん延を防止するために必要な対策の一つとして、結核感染リスクが高い高齢者、並びに医療・介護従事者、結核予防業務従事者に対し、結核予防知識の普及啓発を行うことがあげられる。

(2) 事業内容

感染症法による結核予防業務と併せて、地域の実情に応じた重点的な結核対策事業の実施

- T B メディカルセミナー(医師及び医療従事者等を対象とした講演会)
- 高齢者又は介護者研修会
- 結核後遺症者健康呼吸器教室
- 日本語学校又は監理団体等研修会
- 結核予防技術者等養成研修

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

高齢者又は介護者研修会に係る予算は国 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	280	研修会講師報償費
旅費	198	業務旅費、講師旅費
需用費	91	事務消耗品、研修会会議費
役務費	100	郵便代、結核菌送料
負担費	25	放射線技師学会大会登録料
合計	694	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

岐阜県感染症予防計画

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

結核感染リスクが高い高齢者、並びに医療・介護従事者、結核予防業務従事者に対し、各層に応じた結核予防知識を普及する等により、感染拡大の防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
人口10万人当たり結核罹患率		10.2	7.0以下	7.0以下	7.0以下	68.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・介護者研修会…1保健所で実施（2回開催） 合計23人参加 ・高齢者を対象とした研修会では、高齢者が結核患者とならないために普段から意識すべき知識の普及等を行った。なお、TBメディカルセミナー、結核後遺症者呼吸器教室および日本語学校または管理団体等研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。
	指標① 目標： <u>7.0以下</u> 実績： <u>10.1</u> 達成率：69.3 %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・TBメディカルセミナー…3保健所で実施 合計118人参加 ・高齢者・介護者研修会…6保健所で実施(8回開催) 合計358人参加 ・日本語学校又は管理団体等研修会…1保健所で実施 合計15人参加 <p>結核後遺症健康呼吸器教室は、該当の対象者がいないため、開催なし</p>
	指標① 目標： <u>7.0以下</u> 実績： <u>9.1</u> 達成率：68.6 %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・TBメディカルセミナー…3保健所で実施 合計117人参加 ・高齢者・介護者研修会…7保健所で実施(9回開催) 合計300人参加 ・日本語学校又は管理団体等研修会…4保健所で実施 合計130人参加 <p>結核後遺症健康呼吸器教室は、該当の対象者がいないため、開催なし</p>
	指標① 目標： <u>7.0以下</u> 実績： <u>10.2</u> 達成率：76.9 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない

<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>戦後、国内の結核感染率は大きな改善を遂げてきたが、依然として県内では196人の新規患者が発生しており、罹患率も10.2と全国平均に比べて高い状況にある（R6）。日本は「結核低まん延国」に位置付けられているが、結核の制圧に向けて継続した努力が求められている。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>1</p>	<p>結核罹患率は徐々に減少傾向にあり、令和5年度は9.1まで下がり、低まん延国の定義である罹患率10以下となったが、令和6年度は10.2と上がっており、継続して罹患率を下げるより一層の努力が求められる。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>更なる罹患率の減少のためには県内全体での対策の浸透が必要となるため、隔年で地域を交替し研修を開催するなど、全県的な事業実施に努めている。</p>

(今後の課題)

- 今後は高齢化の進展に伴う高齢者と、外国人労働者等の増加による外国出生者の発病がさらに増加することが危惧され、また治療中断等による多剤耐性結核菌の発生や重度の合併症など、治療の困難な事例の増加が予想される。

(次年度の方向性)

- 今後更なる増加が危惧される高齢患者及び外国出生患者を中心として、他の結核対策事業と相俟って、早期発見、早期治療、並びに二次感染の防止を徹底していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	